



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年2月7日

上場会社名 伊勢湾海運株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9359 URL http://www.isewan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 安藤 幹雄 TEL 052-661-5181
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	27,461	22.7	1,239	254.2	1,469	125.9	662	66.0
22年3月期第3四半期	22,389	△ 31.4	349	△ 80.4	650	△ 66.4	398	△ 44.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	25	64	—	—
22年3月期第3四半期	15	39	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第3四半期	33,611	25,932	25,932	76.2	1,012	63		
22年3月期	33,107	26,146	26,146	78.1	998	37		

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 25,612百万円 22年3月期 25,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭		
22年3月期	—	7	50	—	10	00	17	50
23年3月期	—	10	00	—				
23年3月期(予想)				7	50	17	50	

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	34,500	12.3	1,400	86.4	1,700	45.3	900	35.5	34	83

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	27,487,054株	22年3月期	27,487,054株
23年3月期3Q	2,194,236株	22年3月期	1,586,104株
23年3月期3Q	25,839,630株	22年3月期3Q	25,918,153株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の資料に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、緩やかに回復しつつありましたが、このところ足踏み状態となっております。また、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が存在しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、名古屋港における物流業界の輸出入貨物の荷動きにおきましても、前年同期と比べると上回ってはいるものの、依然として低い水準となっております。

このような状況の中で、当社グループは営業活動に鋭意努力を重ね、当第3四半期連結累計期間の売上高は274億6千1百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

利益面におきましては、営業利益は12億3千9百万円（前年同期比254.2%増）、経常利益は14億6千9百万円（前年同期比125.9%増）、四半期純利益は6億6千2百万円（前年同期比66.0%増）となりました。

なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より、事業区分を、「物流事業」の単一のセグメントに集約したため、セグメント情報の記載はありません。また、変更の内容については、「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報」に記載のとおりであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、及び健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加して336億1千1百万円となりました。このうち、流動資産は9億8千6百万円増加して119億3千5百万円、固定資産は4億8千2百万円減少して216億7千6百万円となりました。流動資産の増加の主な要因は、売上高増加に伴う現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産の減価償却によるものと株式相場下落に伴う投資有価証券の減少であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ7億1千7百万円増加し76億7千8百万円となりました。このうち、流動負債は5億4千1百万円増加して49億6千5百万円、固定負債は1億7千6百万円増加して27億1千2百万円となりました。流動負債の増加の主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものであり、固定負債の増加の主な要因は、資産除去債務の計上によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億1千4百万円減少し259億3千2百万円となりました。このうち、株主資本は1億1千5百万円減少して253億6千万円、評価・換算差額等は1億3千1百万円減少して2億5千2百万円、少数株主持分は3千2百万円増加して3億2千万円となりました。株主資本の減少の主な要因は、自己株式の取得によるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、47億8千9百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、11億1千6百万円（前年同期比437.8%増）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益12億9千4百万円、仕入債務の増加額3億9千8百万円である一方で、売上債権の増加額6億4千8百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、2億4千1百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2億4千万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、5億9百万円（前年同期比64.0%減）となりました。

主な内訳は、短期借入金の純増額3億3千3百万円である一方で、自己株式の取得による支出2億4千1百万円、配当金の支払額4億9千6百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想に関しては、平成22年5月13日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ5,130千円、税金等調整前四半期純利益は、159,961千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は215,003千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,914,391	4,524,555
受取手形及び売掛金	6,165,641	5,521,398
繰延税金資産	246,782	445,002
その他	627,442	472,849
貸倒引当金	△19,127	△15,214
流動資産合計	11,935,130	10,948,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,952,089	7,205,697
機械装置及び運搬具（純額）	903,694	982,927
土地	8,779,963	8,779,963
リース資産（純額）	37,714	34,389
その他（純額）	160,022	179,275
有形固定資産合計	16,833,483	17,182,254
無形固定資産		
その他	6,515	7,065
無形固定資産合計	6,515	7,065
投資その他の資産		
投資有価証券	2,059,316	2,176,357
出資金	846,271	849,159
長期貸付金	903,961	914,161
繰延税金資産	376,669	251,067
その他	740,186	862,874
貸倒引当金	△90,097	△83,796
投資その他の資産合計	4,836,308	4,969,823
固定資産合計	21,676,308	22,159,143
資産合計	33,611,438	33,107,733

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,841,214	2,444,127
短期借入金	354,167	21,000
1年内返済予定の長期借入金	75,780	104,974
リース債務	15,064	11,515
未払法人税等	222,278	436,563
賞与引当金	380,000	740,000
その他	1,077,469	666,784
流動負債合計	4,965,974	4,424,964
固定負債		
長期借入金	48,004	103,589
リース債務	24,535	24,594
退職給付引当金	2,015,225	1,999,226
資産除去債務	218,763	—
その他	406,422	408,690
固定負債合計	2,712,951	2,536,100
負債合計	7,678,926	6,961,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,046,941	2,046,941
資本剰余金	1,463,431	1,463,431
利益剰余金	22,815,941	22,690,402
自己株式	△966,136	△725,120
株主資本合計	25,360,178	25,475,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	306,540	393,149
為替換算調整勘定	△54,497	△9,960
評価・換算差額等合計	252,042	383,188
少数株主持分	320,290	287,824
純資産合計	25,932,512	26,146,668
負債純資産合計	33,611,438	33,107,733

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	22,389,267	27,461,541
売上原価	17,834,524	21,912,627
売上総利益	4,554,743	5,548,913
販売費及び一般管理費	4,204,958	4,309,907
営業利益	349,785	1,239,005
営業外収益		
受取利息	26,405	23,117
受取配当金	27,217	23,959
持分法による投資利益	21,576	34,422
受取賃貸料	99,982	90,154
雇用調整助成金	65,052	—
その他	69,883	76,795
営業外収益合計	310,118	248,449
営業外費用		
支払利息	9,163	3,672
為替差損	—	13,755
その他	306	760
営業外費用合計	9,470	18,188
経常利益	650,433	1,469,267
特別利益		
固定資産売却益	39,906	2,897
前期損益修正益	31,609	—
その他	11,572	17
特別利益合計	83,087	2,914
特別損失		
固定資産売却損	1,891	—
固定資産除却損	4,583	—
会員権評価損	2,850	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	154,831
その他	950	22,792
特別損失合計	10,275	177,623
税金等調整前四半期純利益	723,245	1,294,559
法人税、住民税及び事業税	212,313	491,868
法人税等調整額	129,540	96,423
法人税等合計	341,853	588,291
少数株主損益調整前四半期純利益	—	706,267
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17,600	43,794
四半期純利益	398,992	662,473

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	723,245	1,294,559
減価償却費	730,334	658,678
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,877	10,213
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△370,000	△360,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,063	16,127
受取利息及び受取配当金	△53,623	△47,077
支払利息	9,163	3,672
為替差損益 (△は益)	△24,162	3,734
持分法による投資損益 (△は益)	△21,576	△34,422
有形固定資産売却損益 (△は益)	△38,014	△2,893
有形固定資産除却損	4,583	—
会員権評価損	2,850	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,061,159	△648,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	311,827	398,363
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	154,831
その他	△104,729	291,302
小計	135,680	1,738,501
利息及び配当金の受取額	45,172	39,214
利息の支払額	△7,644	△3,672
法人税等の支払額	△209,599	△658,693
法人税等の還付額	244,065	1,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,674	1,116,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△164,261	△240,147
有形固定資産の売却による収入	83,127	16,830
投資有価証券の取得による支出	△14,677	△15,248
会員権の売却による収入	1,510	—
定期預金の預入による支出	△27,780	△39,270
定期預金の払戻による収入	—	100,000
貸付けによる支出	△78,000	△78,000
貸付金の回収による収入	2,800	—
その他	51,065	14,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,216	△241,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	240,830	333,167
長期借入金の返済による支出	△1,063,207	△84,779
自己株式の取得による支出	△1,711	△241,629
自己株式の処分による収入	132	34
配当金の支払額	△574,899	△496,372
少数株主への配当金の支払額	△9,300	△9,300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,783	△10,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,413,939	△509,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,155	△6,970
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,346,326	358,996
現金及び現金同等物の期首残高	5,246,056	4,430,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,899,730	4,789,191

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	港湾運送事業 (千円)	その他運輸関 連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,425,387	11,963,880	22,389,267	—	22,389,267
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,425,387	11,963,880	22,389,267	—	22,389,267
営業利益	394,325	628,913	1,023,238	(673,453)	349,785

(注) 1 事業の区分は、事業の性質及び営業取引の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業区分の主要な内容

港湾運送事業……港湾の船内荷役、沿岸荷役、はしけ運送の各事業

その他運輸関連事業……海上・陸上運送、附帯、倉庫、一般廃棄物及び産業廃棄物の運送ならびに再生処理、一般貨物自動車運送の各事業

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

当社グループは、物流事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

なお、当社グループは従来、事業の種類別セグメントを「港湾運送事業」、「その他運輸関連事業」の2セグメントに分類集計しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「物流事業」の単一のセグメントに集約いたしました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。